

「見て」「聞いて」「感じて」自分を守る。家族を守る。

ハカルワカル広場 講演会 開催

原発の断りかた

いかにして人びとは海と命を守ったか

11月7日(土)10:00~12:00 オンライン講演会

講師 柴原 洋一さん



国策としての原発建設が計画されたら、地元にはいったい何がおこるのか。

人々の反対の声、怒りの声。それを圧殺する凄まじい力。

民主主義はどこへ行ってしまうのか。

人々はどのように分断されて、どれほどの悲しみを積み上げることになるのか。

それでも諦めないで、闘い続け、人々は負けなかった。

芦浜原発を拒否した三重県南島町（現・南伊勢町）の人々は理不尽を許さなかった。

理不尽は止められる。今こそそれを学びたい。

地元の高校教師として、南島の人々から学びながら行動を続けた、
柴原洋一さんにその歴史を語っていただきます。

柴原洋一（しばはらよういち）

1953年、浜島町（現・志摩市）生まれ。信州大学人文学部卒業後、78年より三重県の高校英語科教師に。86年～91年、南島高校に勤務。83年から芦浜原発反対闘争に加わり、90年代に南島町芦浜原発阻止闘争本部が組織した「脱原発みえネットワーク」の事務局長を務めた。2011年、退職。「原発おことわり三重の会」会員。
著書：「原発の断りかた」（月兎舎）

